

国際センター通信(No.128)

会長からのメッセージ

土木分野のグローバルな課題に対する国際協働

土木学会（JSCE）は5カ年計画を継続的に立てており、現在のものはJSCE2020-2024（略称：JSCE2020⁽¹⁾）である。その中に中期重点目標を四つ掲げており、その一つが「我が国が有する質の高いインフラの海外展開と国際的諸課題の解決への主体的貢献」である。そのため日本におけるグローバル人材の育成にJSCEが自ら率先して取り組むと記されており、会長プロジェクトの土木グローバル化総合委員会もこれに符合している。さらに、「世界規模の諸問題に対処するため」に、JSCEは「産官学が一体となって技術的活動に取り組んできた強みを生かして、国際的課題の解決に向けて国際協働で取り組む」とも記されている。この点は、JSCEが主催したアジア土木学協会連合協議会（ACECC⁽²⁾）の国際会議CECAR8で公表された「ACECC東京宣言2019⁽³⁾」にも合致するものである。

JSCEの過去の国際活動は、どちらかというとなりて開発途上国への技術支援、人材育成が主流であったが、JSCE2020にもあるように、これからは共通する世界的課題に先進国および開発途上国と国際協働で取り組んでいくことの重要性が明示されている。

JSCEが国際協働を行うカウンターパートは各国・地域の土木関連学協会である。JSCEには現在、協定を締結している31の学協会（図1）があり、そのうちの12の学協会はACECCに加盟している。なお、現在、ACECCの加盟団体は17である。JSCEの協定学協会の方が多いため、ACECCがアジア地域の国際団体だからであり、欧米の学協会は米国土木学会（ASCE）を除いて加盟団体ではないためである。

JSCEが各国の土木関連学協会と協働する場合、相手方の組織や活動内容を十分に把握しておく必要がある。というのも、JSCEとは組織の状況が異なっており、国・地域によって多種多様だからである。例えば、多くの国には土木と名のつく学協会がない。オーストラリア、タイ、ネパール、バングラデシュ、パキスタンではそれぞれの工学会が相手方となる。土木と名のつく学協会であっても、土木の全ての分野をカバーしているわけではなく、中国やインドネシアでは水工関連分野が含まれておらず、それらは別の団体となる。また、一部の団体は、日本工学会のように、下部組織の連合体のような性格を有し、中国やベトナムがそれに該当する。このような場合、各下部組織が実質的な活動を行なっている。JSCEは産官学の専門家が一堂に会し、技術調査や研究といった創作的活動も活発に展開しているが、他国の組織は教育や啓発活動が主体であることがあり、例えば、

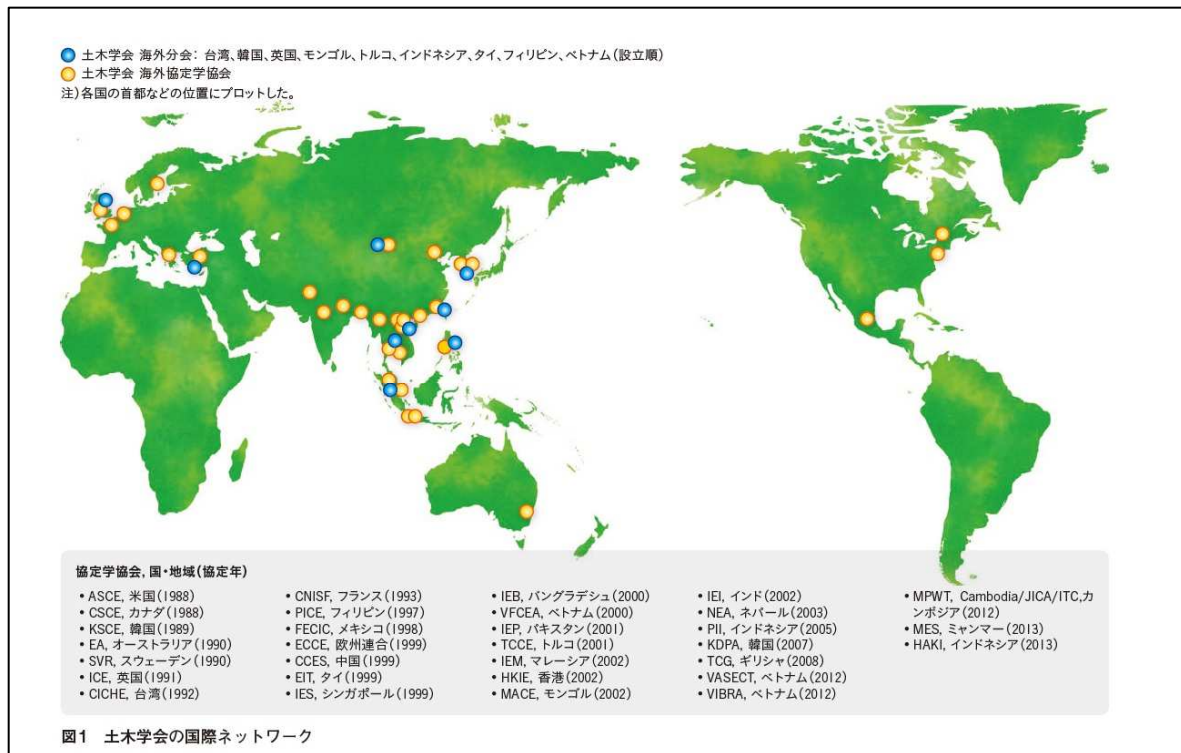


撮影：伊藤留美子（写真家）

上田 多門
土木学会 第110代会長

米国や英国がそれに相当する。JSCEに組織・活動形態に近いのは大韓土木学会（KSCE）である。

前述のような状況を理解した上で、自然災害対応、人口過密問題、気候変動対応、ダイバーシティ&インクルージョン、人材育成といったグローバルな課題を、多国間、二国間で協働して取り組んでいくこととなる。他国の組織との比較から明らかなように、JSCEは土木全般をカバーし、産官学の専門家が参加し、技術・研究活動を総合的に行える数少ない組織であることから、国際協働をリードしていく責務があると考ええる。今後、JSCEは国際協働活動を継続的かつ活発に行なっていく。皆様のご協力が得られれば幸いである。



<参考文献>

- (1) 土木学会 5 年計画 : JSCE2020-2024 : <https://committees.jsce.or.jp/JSCE20XX/jsce2020>
- (2) アジア土木学協会協議会 (ACECC) 担当委員会 : <https://committees.jsce.or.jp/acecc/node/4>
- (3) ACECC Tokyo Declaration 2019 : <https://committees.jsce.or.jp/acecc/node/46>

2022 年度土木学会国際関係賞

国内外の土木技術者 20 名が土木学会国際貢献賞、国際活動奨励賞を受賞した。うち海外から 2 名が受賞者となった。なお、2022 年度より国際活動協力賞が国際活動奨励賞に一本化された。

各賞の受賞者は以下の表のとおりである。

(参考：http://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2022.shtml)

<国際貢献賞> 計 5 名

日本国内外の活動を通じて、国際社会における土木工学の進歩発展あるいは社会資本整備に貢献し、その活動が高く評価された日本人、並びに日本の土木工学の発展あるいは日本の土木技術の国際交流に貢献したと認められた外国人に授与される。

氏名	所属
石川 雄一	日本工営(株) 副社長執行役員
小野崎 寛和	(株)大林組 常務執行役員北米支店長
小山 彰	(一社)水底質浄化技術協会 専務理事
田中 仁	東北大学大学院工学研究科 教授
Nguyen Ngoc Hue	ベトナム港湾・水路・海洋技術協会 会長

<国際活動奨励賞> 計 15 名

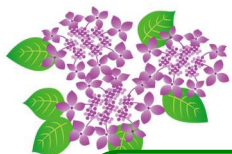
海外における土木工学の進歩発展あるいは社会資本の整備において、現地での土木技術の発展に寄与し、国際貢献への活動が今後とも期待される日本人技術者および外国人技術者に授与される。

氏名	所属	氏名	所属
井澤 淳	(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター地震動力学 上席研究員(GL)	星谷 寛	PT. Bhimasena Power Indonesia General manager
小野 智広	(独)国際協力機構 社会基盤部 参事役兼運輸交通グループ 第三チーム課長	松島 格也	京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 准教授
高島 一禎	(株)安藤・間 九州支店土木部馬毛島仮設プラントその3 作業所 所長	水田 潤一	関西電力(株) 再生可能エネルギー事業本部 黒部川水力センター 所長

田口 知寛	(株)大林組 アジア支店ジャムナ JV 工事事務所 副所 長 (工務担当)	水野 直人	八千代エンジニアリン グ(株) 事業統括本部 海外事業部 プロジェクトマネー ジャー
谷本 雅敬	清水建設(株) 土木国際支店土木第 二部ガーナ第二次国 道八号線改修工事 現場代理人	室永 武司	国土交通省 水管理・ 国土保全局河川環境課 河川保全企画室 室長
西澤 健太郎	(株)オリエンタルコ ンサルタントグロー バル 軌道交通技術第一部 次長	山路 徹	(国研)海上・港湾・航 空技術研究所港湾空港 技術研究所 構造研究領域 領域長
藤富 隆行	日本工営(株) 鉄道事業本部ダッカ MRT 6 号線 GC 開発 事務所 所長	呉 建宏	台湾・国立成功大学 土木工学専攻 特聘教 授 (Distinguished Professor)・専攻長
古川 徹	大成建設(株) 国際支店シンガポー ル環状線マリーナベ イ駅改修工事 T2916 作業所長		

お知らせ

【今後の予定】

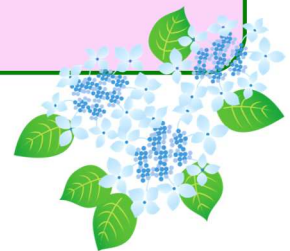


◆ふくろう多門のビデオレター No.16 公開

https://www.youtube.com/playlist?list=PLRALmeewpTqoKp7gGhXqoh_b_pNvYO9oH

◆第 13 回 技術者ラウンジ “DOBOKU” (6/23 開催)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/340>



◆令和 4 年度 土木学会 会長室

<https://www.jsce.or.jp/president/index.shtml>

・「多門に多聞&多問」* 上田会長へのご意見、ご質問をお待ちしております。

<https://committees.jsce.or.jp/chair/node/59>

- ◆「藤野 陽三 先生に訊く」 土木工学における学術研究活動の国際化ビジョン検討小委員会 インタビュー
<https://youtu.be/FiLVGsILnmA>
- ◆「海外インフラプロジェクトアーカイブス (JSCE ウェブサイト英語版)」
<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>
- ◆「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト (日本語版)
http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2023
- ◆土木学会コンクリート標準示方書「基本原則編」、「設計編」、「維持管理編」の3編が改訂！
<https://committees.jsce.or.jp/cprcenter/node/388>
- ◆D&I カフェトーク 一身近にあります。多様な働き方や生き方。そんなお話をしてみます。—
<https://committees.jsce.or.jp/diversity/node/82>
- ◆第192回論説(2023年5月版) オピニオン
 - (1) メンテナンス技術の価値に適切な評価を
<https://note.com/jsce/n/naae75f6ce7f7>
 - (2) 賃上げをするために
<https://note.com/jsce/n/n7ec52ea7a5c3>
- ◆土木学会誌 2023年6月号 ※JSCE ウェブサイト (英語版)
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆The 4th International Conference on Transportation Infrastructure and Sustainable Development (TISDIC 2023)
<https://tisdic2023.dut.udn.vn/>
- ◆CECAR10 : <http://www.cecar10.org/>
- ◆ASCE 2023 CONVENTION, CHICAGO (October, 18-21)
<https://convention.asce.org/>
- ◆KSCE 2023 CONVENTION (October, 18-20)
<https://eng.ksce.or.kr/activities/act01.asp?idx=60&page=1&sfield=>xt=&byy=&gbns=1&ctop=MN0335&htop=MN0323&ptop=MN0323&smm=&btype=&bgbn=R>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。

(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp 皆様のご意見やコメントをお待ちしております。